

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	83	市民とともにつくる行政の実現
施策主管部   市長公室		評価者(施策統括マネージャー)名   東藤郁夫	

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	市政に参画することができる

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民参加を推し進めている累計事業数	事業	↗	99	101	99	103	110
パブリックコメントに寄せられた1件あたりの意見数	件	↗	22	16	15	17	20

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民参加を推し進めている累計事業数	盛岡市独自の数値のため比較データなし
パブリックコメントに寄せられた1件あたりの意見数	東北の県庁所在地で中核市である都市との比較 平成22年度 青森市 6.5件(案件8件 意見数 52) 秋田市 各部署で実施しており, 全体を集計していない。

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	<p>パブリックコメントを実施した件数は, 平成21年度に比べ1件増加, また, 意見を提出した人数も98人から111人と13人増加している。一件あたりの意見数は, 21年度が22件, 22年度が15件と減少しているが, 21年度は, 歴史文化施設整備基本計画や交通戦略の策定など, 市民の関心の高い案件があったことが意見数の多かった要因と考えられる。20年度は13件であることから, 全体としては, 意見数は増えている状況である。</p> <p>22年度においても, 鉈屋町歴史的建造物等活用基本計画に係る意見数は70件, また, 盛岡市地域協働推進計画に関しては35件と, 市民にとって関心の高い案件については, 意見数が多い傾向にある。</p> <p>情報開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む。)は, 大幅に伸びており, 市のホームページの新着情報提供件数が, 21年度の2,404件から22年度の3,255件と大幅に増加していることが主な要因である。</p> <p>また, 市民参加を推し進めている累計事業数は横ばいであるが, 協働事業数は, 21年度に比べ増加していることなど, 市民参加による行政が推進されているものと考えられる。</p>
翌年度以降の課題, その要因	<p>パブリックコメントについては, 案件によって, 意見数が0件から70件と開きがあり, テーマによって市民の関心度が異なり, 意見数に影響していると考えられる。そのため, 今後さらに「市民起点による市政」を推進するため, パブリックコメントの周知方法や資料を工夫するなど, できるだけ市政への関心を高めることに努め, 市民参画の機会の拡充を図る必要がある。</p> <p>また, 広聴機能の充実の成果指標である市民アンケート調査による「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合は, 21年度に比べ減少していることから, 市民の意見を聴く取組とともに, 市政に反映させていることを積極的に情報提供することが必要である。</p>





